



メダカの生存率  
ふ化から成魚まで

5年2組 田中 奏奈

## きっかけ

昨年の自由研究で、メダカの好きな産卵場所を調べた。  
その時にたまごは全部で2000個産み付けられていた。  
しかし、2000個すべてふ化して、成魚まで成長しないことに気づいた。  
メダカがふ化をして成魚まで成長するには、どんな条件が必要なのか  
調べたいと思った。

## 用意するもの

- ・メダカのオスとメス（卵を産ませるため）
- ・水草（産卵床）
- ・カップ（大きさが同じなもの）
- ・エチレンブルー（メダカの治療薬：水カビ病や白点病に効果あり）

## 有精卵がふ化できる環境を考える

- ・昨年の自由研究で、無精卵にカビがついていて有精卵にもカビが移っていた。
- ・カビが移った有精卵はふ化することができなかった。
- ・無事にふ化するためには、カビを防止することが重要と考えた。
- ・たまごを水道水とエチレンブルーに入れ、ふ化する様子を観察する。
- ・同じ数のたまごを容器（同じ大きさ）に入れてひかくする。  
(ふ化する環境を同じにするため)
- ・ふ化した後、メダカがすくすく育ってくれるか観察する。

# 今回の実験



## 実験A

エチレンブルーを使い、ふ化率に効果があるのか  
観察してみる。



## 実験B

ふ化した針子の生存率は環境によって変わるものか観察してみる。  
(ビオトープとグリーンウォーター)



## 実験A

## メダカのふ化率

## 観察①

ビオトープへ入れる

日付	たまご	水道水 (ふ化した数)	エチレンブルー (ふ化した数)
6/12	40個入れる		
6/26		36匹生まれる	37匹生まれる
合計		36匹	37匹
ふ化率		90.0%	92.5%

## 実験A

## メダカのふ化率

## 観察②

ビオトープへ入れる

日付	たまご	水道水 (ふ化した数)		エチレンブルー (ふ化した数)	
6/26	69個入れる				
6/29		2匹生まれる		1匹生まれる	
6/30		5匹生まれる		2匹生まれる	
7/3		27匹生まれる		28匹生まれる	
7/6		18匹生まれる		25匹生まれる	
合計		52匹		56匹	
ふ化率		75.4%		81.2%	

## 実験A

## メダカのふ化率

## 観察③

ビオトープへ入れる

日付	たまご	水道水 (ふ化した数)		エチレンブルー (ふ化した数)	
7/7	20個入れる	5匹生まる		7匹生まる	
7/12		6匹生まる		2匹生まる	
7/13				2匹生まる	
7/15				4匹生まる	
合計		11匹		15匹	
ふ化率		55.0%		75.0%	

## 実験A

## メダカのふ化率

## 観察④

## グリーンウォーターへ入れる

日付	たまご	水道水 (ふ化した数)	エチレンブルー (ふ化した数)
7/15	31個入れる		
7/20		18匹生まれる	
7/23			12匹生まれる
7/27			6匹生まれる
8/9			12匹生まれる
合計		18匹	30匹
ふ化率		58.1%	98.1%

## 実験A

## メダカのふ化率

## 観察⑤

日付	たまご	水道水 (ふ化した数)	グリーンウォーターへ入れる
			
7/28	55個入れる		
8/1		1匹生まれる	3匹生まれる
8/2		2匹生まれる	13匹生まれる
8/3		1匹生まれる	19匹生まれる
8/5		※カビが全体に広がり、 有精卵が全滅している	15匹生まれる
	合計	4匹	50匹
	ふ化率	7.3%	90.0%

## 実験A

## メダカのふ化率

## 観察⑥

グリーンウォーターへ入れる

日付	たまご	水道水 (ふ化した数)		エチレンブラー (ふ化した数)	
7/30	101個入れる				
8/3		2匹生まれる		6匹生まれる	
8/4		8匹生まれる		39匹生まれる	
8/5		32匹生まれる		13匹生まれる	
8/6		11匹生まれる		12匹生まれる	
8/7		2匹生まれる		10匹生まれる	
合計		55匹		80匹	
ふ化率		54.5%		79.2%	

## 実験A

## メダカのふ化率

## 観察⑦

グリーンウォーターへ入れる

日付	たまご	水道水 (ふ化した数)	エチレンブルー (ふ化した数)
8/2	43個入れる		
8/5		2匹生まれる	8匹生まれる
8/6		6匹生まれる	10匹生まれる
8/7		11匹生まれる	13匹生まれる
8/8		13匹生まれる	4匹生まれる
8/10		2匹生まれる	2匹生まれる
合計		34匹	37匹
ふ化率		79.1%	86.0%

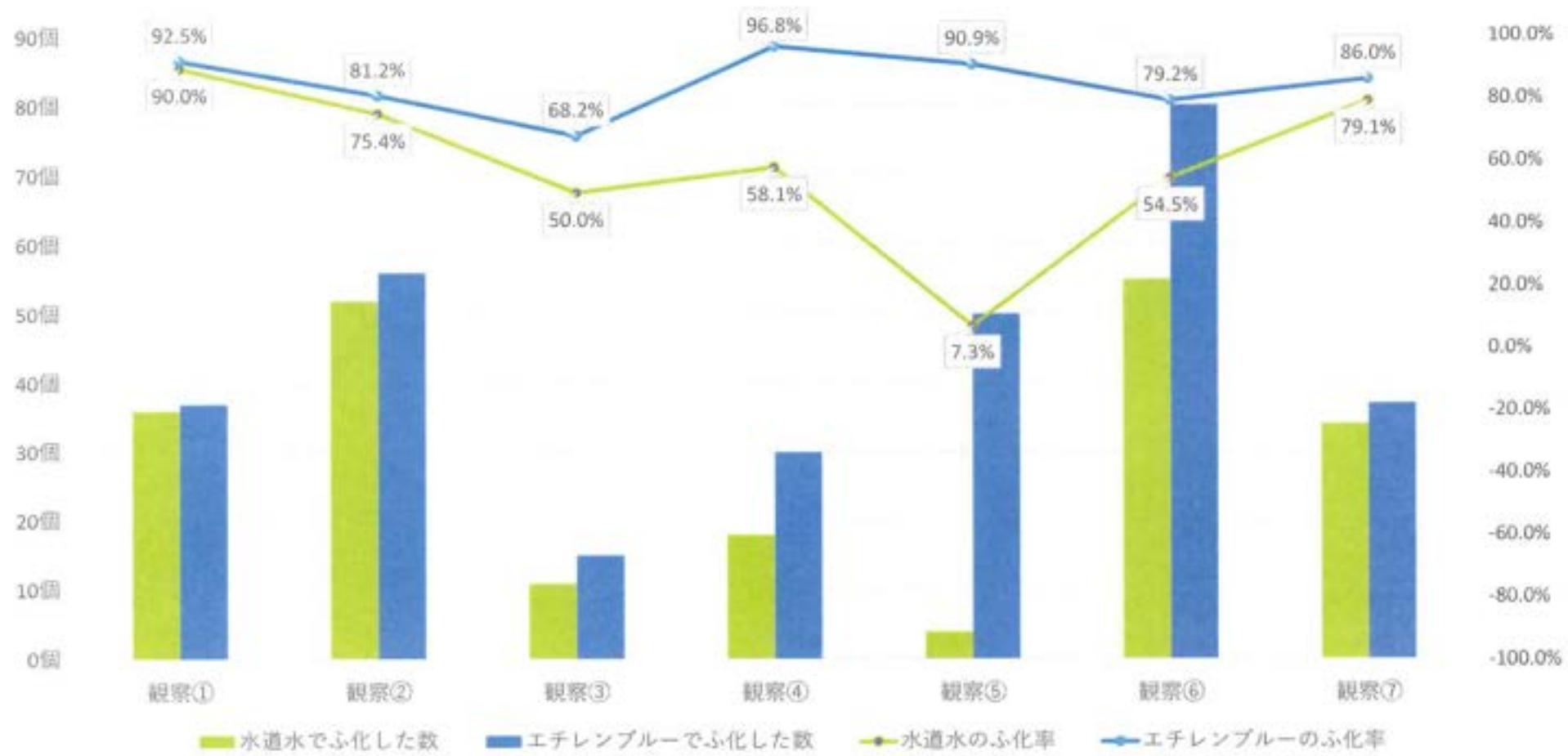
## 実験A

## まとめ(メダカのふ化率 観察①~⑦)

	採取した たまごの数	水道水 (ふ化した数)	エチレンブラー (ふ化した数)
観察①	40個	36匹	37匹
観察②	69個	52匹	56匹
観察③	22個	11匹	15匹
観察④	31個	18匹	30匹
観察⑤	55個	4匹	50匹
観察⑥	101個	55匹	80匹
観察⑦	43個	34匹	37匹
合計	359個	210匹	305匹
ふ化率		58.5%	85.0%

## 実験A

### まとめ(メダカのふ化率 観察①~⑦)



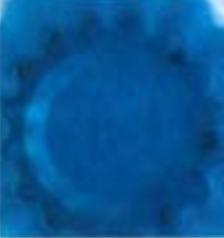
## 実験A

### たまごの様子のまとめ(①~⑦)

	水道水 (ふ化した数)	特ちょう	エチレンブルー (ふ化した数)	特ちょう
観察①		変化なし		エチレンブルーは卵の色がちょっと青色に染まっていいるかも!?
観察②		無精卵にカビがついている!?		卵の色が青色に染まった!?
観察③		カビがつくことなく成長している。		もっと青色に染まった!?

## 実験A

## たまごの様子のまとめ(①~⑦)

	水道水 (ふ化した数)	特ちょう	エチレンブルー (ふ化した数)	特ちょう
観察④	 → 	変化なし	 → 	エチレンブルーで染まった卵は、目がついているのかよく分からない。
観察⑤	 → 	無精卵にカビがついて、目玉がついている有精卵にも、カビが移っている。	 → 	変化なし。 カビなし。
観察⑥	 → 	たまごの中が白い。 たぶん無精卵。	 → 	白い無精卵が青色に変わっている。 ほかの有精卵も青色に変わっている。

## 実験A

### たまごの様子のまとめ(①~⑦)

	水道水 (ふ化した数)	特ちょう	エチレンブルー (ふ化した数)	特ちょう
観察⑦	 	変化なし	 	エチレンブルーを入れた時間が遅く、卵がまだ青色に染まっていない。

## 実験A

### まとめ（水道水とエチレンブルーのひかく）

- ・水道水のふ化率は、58.5%だった。
- ・エチレンブルーのふ化率は、85.0%だった。
- ・水道水とエチレンブルーをひかくすると、  
エチレンブルーの方がふ化率が高いことが分かった。
- ・エチレンブルーはカビを発生させない効果があったと言える。



## 実験B

## メダカの生存率

## 観察①～③で生まれたメダカのビオトープの生存率

日付	水道水からふかした 針子の数	エチレンブルーからふ化した 針子の数	特ちょう
6/26～7/15	99匹	108匹	
7/20数確認	37匹	53匹	
生存率	37.4%	49.1%	
8/17数確認	26匹	28匹	※1 生存率は11.1ポイント下がった。
生存率	26.3% ※1	25.9% ※2	※2 生存率は49.1%から25.9%と23.2ポイントも一気に下がった。

## 実験B

## メダカの生存率

## 観察④～⑦まで グリーンウォーターの生存率

日付	水道水へ入れた 針子の数	エチレンブラーへ入れた 針子の数	特ちょう
7/15～8/10	111匹	197匹	
8/17数確認	43匹	53匹 ※	※197匹が53匹と一気に下がっている。 容器に針子がたくさんいることで 針子にとってせまいかんきょう だったのか!?
生存率	38.7%	26.9%	
8/19数確認	39匹	37匹 ※	※さらに針子の数が減っている。 16匹減った。成長して大きくなった針子が小さい針子を 食べているかも!!
生存率	35.1%	18.8%	
8/22数確認	39匹	36匹	
生存率	35.1%	18.3%	

## 実験B

## メダカの生存率

### ビオトープの生存率

- ・水道水でふ化した針子の生存率は37.4%から26.3%で、少し下がった。
- ・エチレンブルーでふ化した針子の生存率は49.1%から25.9%で、一気に下がってしまった。下がってしまった原因は分からぬ。

### グリーンウォーターの生存率

- ・水道水でふ化した針子の生存率は38.7%から35.1%で、あまり下がらっていない。
- ・エチレンブルーでふ化した針子の生存率は、26.9%から18.3%で、はじめから生存率が低かった。容器に針子がたくさんいることで、針子にとってせまいかんきょうだったのか？

## 実験B まとめ(ビオトープとグリーンウォーターのひかく)

生存率は高い順に、

- ↑ 水道水 (グリーンウォーター)
- 水道水 (ビオトープ)
- エチレンブルー (ビオトープ)
- エチレンブルー (グリーンウォーター)

となった。



エチレンブルーは、確実にふ化率は高いが、生存率は低い結果となった!!  
ふ化率が高かったエチレンブルーで、再実験をやってみることにした!

## 再実験



### 実験C

再度、エチレンブルーでふ化した針子は、環境によって生存率が変わるので観察してみる。

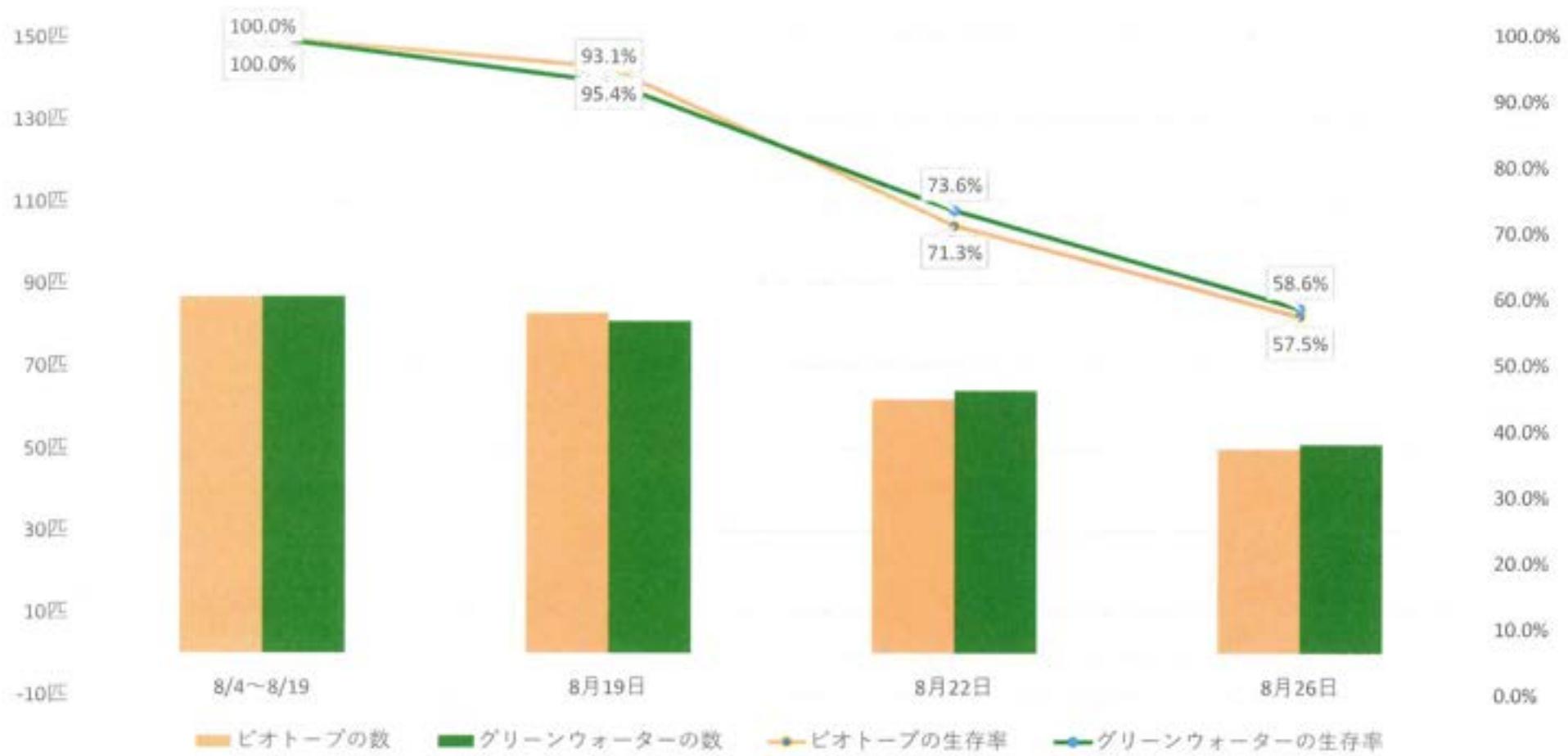


## 実験C

## メダカの生存率の表

日付	ピオトープへ入れた 針子の数	グリーンウォーターへ入れた 針子の数	特ちょう
8/4~8/19	87匹	87匹	
8/19数確認	83匹	81匹	※ピオトープと比べて、グリーン ウォーターの方が成長が早い。 成長する早さが早い代わりに、小 さい針子を食べてしまうのか?!
生存率	95.4%	93.1% ※	
8/22数確認	62匹	64匹	※ピオトープと比べて、やはりグ リーンウォーターの方が成長が早 い。小さい針子を食べているメダ カを発見!!!
生存率	71.3%	73.6%	
8/26数確認	50匹	51匹	
生存率	57.5%	58.6%	

## 実験C まとめ（エチレンブルーでふ化したメダカの生存率）



## 実験C　まとめ（ビオトープとグリーンウォーターのひかく）

- ・生存率は、ビオトープ57.5%、グリーンウォーター58.6%となり、ほぼ変わらなかった。
- ・針子が育つ環境に大きな変化は見られなかつたが、グリーンウォーターの方がメダカは大きく育つようだ。
- ・観察していると、グリーンウォーターの方は、メダカの成長スピードは速いと感じた。
- ・大きく成長している針子が小さい針子を食べていたから、よく観察をして、別の容器に移すなど、対策が必要だと分かった。

## 全体を通して分かったこと・まとめ

- ・ふ化率はエチレンブルーの方が高かった。
- ・エチレンブルーはカビを防止し、ふ化率を上げる効果があったと言える。
- ・エチレンブルーでふ化した針子の生存率はビオトープもグリーンウォーターも、差はあまりなかった。
- ・針子が成長するスピードは、グリーンウォーターの方が早いと感じた。
- ・ふ化した後の針子は、成長段階で減っていることから、ふ化した後のかんきょうや大きくなった針子の分別など、さらなる工夫が必要!!
- ・ふ化率が高いから生存率も高くなるとは限らないことが分かった。
- ・ふ化した後、針子を早く成長させることが、生存率につながるのかもしれない。



めだか博士を目指して  
私の研究はまだまだ続く...